

第3回 科学隣接領域研究会（2017.3.3）

科学と宗教 – その3 –

「科学と宗教」の講演会企画



決定！！

これから世界に羽ばたきたいすべての人へ

木^{こだま}魂^{たま}する科学とココロ

科学と文化の交差点 宗教文化篇

第3回科学隣接領域研究会（概要）

日時：2017年3月3日（金）10：00～12：00

場所：日本科学協会会議室（東京都港区赤坂 1-2-2 5F）

参加者（敬称略）

科学隣接領域研究会	リーダー	金子 務（大阪府立大学 名誉教授）
	サブリーダー	酒井 邦嘉（東京大学大学院総合文化研究科 教授）
	メンバー	前野 隆司（慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科 委員長・教授）
		安藤 礼二（多摩美術大学芸術人類学研究所所員/同大学美術学部芸術学科 准教授）
	〃	植木 雅俊（NHK 文化センター 講師）
	〃	岡本 拓司（東京大学大学院総合文化研究科 准教授）
オブザーバー		正木 晃（慶應義塾大学文学部 非常勤講師）
事務局	常務理事	中村 健治
	業務部マネージャー	石倉 康弘
	〃 スタッフ	豊田悠也、堀籠 美枝子

資 料

- ・事務局資料 講演会討議資料「科学の交差点①宗教篇」、ポスター/科学隣接領域研究（内閣府提出資料）
第2回科学隣接領域研究会メモ/「科学と宗教」出版計画（金子先生より）

内 容

・中村常務理事のご挨拶

研究会メンバーの皆様に出席の謝辞をお伝えするとともに、「科学と宗教」研究会が2回終了し、その成果を、研究者を中心に広く伝えるために講演会を開催すること、研究会リーダーの金子先生にご相談の上、講演会討議資料「科学の交差点①宗教篇」を作成したので、本日の研究会では、議論を重ね、講演会の企画を完成させたい旨お伝えしました。

・金子先生からの説明

講演会の開催等について、研究会メンバーに以下の通り、説明しました。

- 研究会は、日本科学協会の研究助成制度の「哲学」分野に力を入れるためのパイロット事業としてスタートしている。今までの研究会での「科学と宗教」における重要なテーマを講演会で取り上げて、研究助成制度につながるよう、若手研究者への問題提起となる内容とする。
- 講演会は、当初2日間開催の予定が、出席者の中心となる若手研究者の集客、会場の状況、事務局の手間等を考慮し、1日（13：00～18：00）で開催する。
- 発表は1人あたり20分で4人発表が終わった後にパネルディスカッションを60分行うという流れで2セット行う。
- 短い時間なので言い足りない分は原稿を書いていただいて、出版原稿にする予定である。また、講演した先生以外にも招待寄稿を3名ほど加えて、出版を計画する予定である。

・決定事項

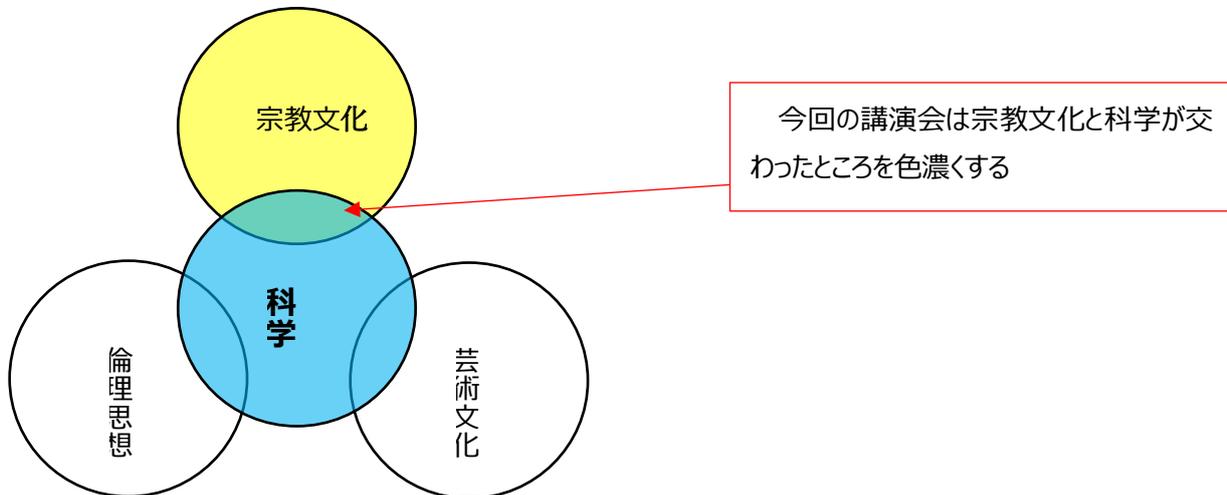
事務局は、講演会討議資料をたたき台として用いて、講演会の背景やねらいなどの説明を行い、研究会メンバーからの意見を求め、セミナーのタイトル、サブタイトル、ポスター掲載用の研究会コンセプト図（※1）、プログラムの内容（※2）、当日の配布資料等検討し、講演会の企画の大枠が決定しました。

（「科学と宗教」セミナーWebサイト：<https://www.jss.or.jp/ikusei/rinsetsu/religion/>）

以上

※1 研究会コンセプト図

- ・科学隣接領域の位置づけをわかりやすく図にして、科学の位置を明らかにする
- ・科学隣接領域の全体がわかることで、今回は宗教文化についての講演会だが、今後開催予定の倫理思想篇・芸術文化篇についてもリーダーになってもらうことを期待できる
- ・科学に携わる人もこういう風に視野を広げて国際教養人になることを表す



※2 プログラムとそれぞれの講演内容（敬称略）

挨拶 主催者挨拶 大島 美恵子（日本科学協会 会長）（13：00～13：05）

総合コーディネーター 金子 務（13:05～13：10）

第1部 ヨーロッパとの対話 ～知と信の原型から～（13：10～15：40） モデレーター：岡本 拓司

- 1 伊東 俊太郎（東京大学 名誉教授）「世界宗教と科学」
- 2 山口 義久（宝塚大学 副学長）「キリスト教以前の科学と宗教」
- 3 嶋田 義仁（中部大学 特任教授）「祈りの人類学」
- 4 田中 一郎（金沢大学 名誉教授）「ガリレオ裁判」

—休憩 10分—

・パネルディスカッション（60分）

—休憩 15分—

第2部 アジアからのメッセージ ～こころの深層を巡って～（15：55～18：25） モデレーター：酒井 邦嘉

- 1 正木 晃（慶應義塾大学文学部 非常勤講師）「科学と宗教の融和と拒絶」
- 2 植木 雅俊（NHK文化センター 講師）「原始仏教における知と信」
- 3 前野 隆司（慶應義塾大学大学院 SDM 研究科 委員長・教授）「脳とこころと無意識」
- 4 安藤 礼二（多摩美術大学准教授・同大学芸術人類学研究所 所員）「鈴木大拙・折口信夫・宮沢賢治」

—休憩 10分—

・パネルディスカッション（60分）

閉会（18：25～18：30）